

# 「映画製作委員会」30周年を記念



30年にわたるドキュメンタリー映画製作について話す 鶴久森さん—神戸市兵庫区の「いちばぎやらしい侘香」で

神戸 県立美術館

神戸を拠点に市民の視点からドキュメンタリー映画製作を続けて30周年を記念して、主

## 来月1、2日 主要6作品上映会

要6作品の上映会が10月1、2日、県立美術館(神戸市中央区)ミ

ユージアムホールで行われる。全作品でプロデューサーを務めた鶴久森典妙さん(67)は「西宮市IIは「原子力発電所から出る放射性廃棄物に焦点を当てた最初の作品『24000年の方舟』以来取り上げてきた問題は全て今も解決していない。作品を通して今の時代を改



上映作品の一つ「24,000年の方舟」のチラシ



「もういいかい」のチラシ

めて考えてほしい」と話している。

「24000年の方舟」が製作された1986年は、福島原発事故はもちろん、もんじゅ事故(95年)よりも以前。完成直後、当時のソ連でチェルノブイリ原発事故が起きた。「当時は原発について賛成か反対しかなく、廃棄物をどうするか論じられることは少なかつた」(鶴久森さん)という。作品は福島原発事故後、再び注目を

上映会を開いた全国各地のグループの支えで製作費を4年程度で回収。続いてスタッフの子どもが苦しんでいたアトピーを取材した「奇妙な出来事アトピー」(91年)を製作した。鶴久森さんは「暮らしの中から見えてくる矛盾を描く姿勢は共通していた」と話す。最新作は百年にわたるハンセン病問題の歴史を描いた「もういいかい」ハセン病と三つの法律(2012年)だ。このほか上映するのは、95年「風ものがたり 食と農と環境」▽04年「紙芝居がはじまるよ」▽06年「フランドン農学校の尾崎さん」。

【姫野聡】

KENYA 名画サロンの一環。1日は午前10時半から「もういいかい」以外の5本を上映。2日は午前10時半から「もういいかい」を上映する。1日券500円(中学生以上)。問い合わせは映画製作委員会(078・3333・8690)。